

コープやまぐち奨励賞・学生の部 梅光学院大学ハンドベルクワイア

代表者 藤田 千思（福祉分野／梅光学院大学）

活動の動機・目的

代々受け継がれてきた「歌うベル」「笑顔で楽しく演奏」を基本方針として、学内での演奏活動に加え、病院や老人ホーム、社会復帰促進センター、自衛隊基地など様々な場所で、梅光学院大学ハンドベルクワイアらしい演奏をする。

ハンドベルの音色に魅了されて、「自分たちの演奏により、多くの方の笑顔や感動、心の癒しになれたら」との思いで演奏活動を実施。

活動の内容

約28年間、週2回の練習と、地域にも数多く出向いて演奏活動を続けている。

①大学関係の演奏活動

- 梅光学院大学大学祭（ルーキス祭）、梅光学院大学クリスマス礼拝。
- 梅光学院大学セシルコール第40回定期演奏会。
- ネパール大地震チャリティーコンサート。
- 第20回九州ハンドベルフェスティバルで演奏。互いに演奏を聴き合うことで、技術の向上を目指し他団体と交流。
- 第5回大学図書館学生協働交流シンポジウムで、梅光学院が主催大学となり、岩手県から鹿児島県までの図書館に関わる大学生や職員の前で5曲演奏。

②施設や病院での演奏活動

- 国立療養所菊池恵楓園で演奏。
- 関門医療センター、あおぞらの里、北九州市立ひかり工芸舎、北九州市モナトリエ等。
※誰でも気軽にハンドベルの演奏を楽しんでもらいたいと思い、演奏する場所や聴衆の年齢層、曲の希望などを聞き、演奏する自分たちはもちろんのこと、聴いて下さる方に楽しんでもらえるように考え、演奏後に「癒された」「またきてね」と言ってもらえることを目指している。

③地域での演奏活動

- 長府企業フェスタ・海上自衛隊小月航空基地にゲスト参加。
- 梅光学院幼稚園のクリスマス会、美祢社会復帰促進センターのクリスマス会で演奏。
- 下関市生涯学習プラザのクリスマス会では9曲演奏。他多数。

これからめざしたいこと

これまで先輩方が築いてきた依頼先との関係を大切にするとともに、毎年新しい依頼も積極的に増やしていきたい。ハンドベルは綺麗な音色に癒されることも適度に脳や身体を動かすこともできることから、音楽療法としても注目されており、今後は病院や老人ホーム、幼稚園への演奏活動にさらに力を入れ、音楽療法という福祉分野の面で貢献していきたい。



関門医療センタークリスマス会での演奏



梅光学院大学ルーキス祭での演奏会